

筑波山山行報告



【山行日】2020年3月11(水) 晴れ

【集 合】鹿窪運動公園P AM 7:00

【費 用】マイカー1台 : 700円

【メンバー】CL: 鈴木、SL大西、安西、嶋田、清水か、関、渡辺、

【コースタイム】鹿窪運動公園 P7:00=筑波山 P7:55/8:10~筑波山神社 8:30~御幸ヶ原 10:00/10:10~男体山 10:20/10:30~女体山 11:00/11:10~つつじヶ丘 12:05/12:40~ロープウェイ駅 13:00/13:15~筑波山 P14:05

~梅林 14:15/14:35~筑波山 P14:45/14:55=鹿窪運動公園 P15:35

去年の12月に入会したS水さんが「筑波山に登ったことが無いので登りたい」と言うので、御幸ヶ原コースから男体山、女体山を登り、白雲橋コースからおたつ石コース・迎場コースと下る王道コースを計画した。結城市鹿窪運動公園を7:00に出発し、最短コースを通り7:55に駐車場に着く。準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行ってから筑波神社に向かう。筑波山は古代より信仰の山として崇められ、平安時代には法相宗の僧徳一が寺を開いたと伝えられている。明治時代になると神仏分離令に伴い、廃仏毀釈の風潮が高まり中禅寺が取り壊され筑波神社が復興した。まずは本殿に参拝し、安全登山を祈願して登山道に向かった。ケーブルカーの宮原駅のすぐ下から右手の登山道が御幸ヶ原コースで、筑波山登山の最もポピュラーな登山道である。



鬱蒼とした杉やヒノキの中を登り、ほぼケーブルカーの軌道と平行して登るので急な登りが続くことになる。途中のベンチがある場所で休憩し、



衣服調整と水分補給を行う。ケーブルカーの軌道が見える中間点を過ぎ、さらに登るとケーブルカーのトンネルの上を通り軌道の反対側を登るようになる。やがて思わず見上げてしまうほど大きな杉の間を通り、大きな岩に囲まれた水場に出る。ここが、百一首に「筑波嶺の峰より落つる男女川、恋ぞ積もりて淵となりぬる」と詠まれている男女川の源だ。この先はさらに急登になるが、ヤブツバキの花やスマレの花が疲れを癒し

てくれる。

急な木の階段を登り切ると広く平らな御幸ヶ原に着き、トイレを済ませベンチで休憩を取る。

ケーブルカーの駅や茶店が立ち並び、北側が開けて加波山や日光連山の眺望が素晴らしい。



ここから男体山頂を目指して登り、階段を上がると山頂への登山道が真っ直ぐに続いている。岩場の登りもあるが問題なく登れ、20分程で筑波山神社の御祭神が祀られた山頂に着く。山頂からの眺望は抜群で、関東平野の向こうにスカイツリーから富士山が望めた。御幸ヶ原まで戻ったら東に向かい、もう一つの山頂の女体山を目指す。茶店の前を通りカタクリ群生地を過ぎた所のベンチで休憩し、イチゴや菓子などを食べエネルギーを補給する。

ここから登りになり、セキレイ石やガマ石などを通して女体山長に着く。山頂からは360度の大パノラマが広がり、霞ヶ浦から太平洋まで見渡せる。

展望を楽しんだら山頂を後にし、東に白雲橋コースを下る。岩場の急降下が続く、滑らないよう慎重に下って行く。登ってくる登山者が多く、すれ違いに待たされ時間が掛かる。

コロナウイルスによる休校で、子供ずれの家族や友達同士の中・高校生などが多く見られる。大仏岩から北斗岩、裏面大黒岩などの奇岩が続く、母の胎内くぐりをくぐり抜けると高天原に出る。狭い岩の間の石段を登ると祠が祀られているが、今日は時間が無いのでスルーして下る。そのすぐ先では弁慶の七戻りと言われる、今にも落ちてきそうな大きな岩の下をくぐって行く。少し進んだ所が弁慶茶屋跡で、広く平らなスペースにベンチやテーブルがあり、大勢



の登山者が休憩していた。我々も休憩を取り、バームクーヘンを食べ水分も補給する。



の登山者が休憩していた。我々も休憩を取り、バームクーヘンを食べ水分も補給する。

ここからおたつ石コースの分岐点になり、左につつじヶ丘に向かって下って行く。最初は少し急な坂道を下るが、次第に緩やかな登山道になり樹林帯のなかを下るようになる。

しばらくすると明るく視界が開け、ロープウェイ駅などが視界に入るようになる。景色が良い登山道を下ると少し平らな場所に、東屋やベンチが並ぶつつじヶ丘に着く。東屋でランチタイムとし、テーブルでビーフシチューとスープ

を温める。紫芋のパンやキュウリのスティック等が並び、超豪華なランチをいただいた。デザートのリングをいただき、お茶を飲んだら後片付けをして下山する。ロープウェイ駅でトイレを済ませ、西に向かって迎場コースを下って行く。針葉樹林に覆われた薄暗い感じの道だが、緩やかに下って行くので足には優しい登山道だ。しばらく下ると白雲橋コースと合流し、そのまま左に下ると筑波神社下の道路に出る。神社下からは往路を戻り、10分くらい歩くと駐車場に着く。トイレを済ませ靴を履き替えた後荷物と車を置き、駐車場の奥から筑波山梅林に向かう。石段を上がり道なりに平坦な道を進むと、筑波山梅林の上部に出る。梅林の中には幾筋か遊歩道が付けられ、その中の一つを適当に下って行く。今年は開花が早く梅の花は盛りを過ぎていたが、花は半分くらい残っておりまだまだ楽しめる。途中から右に進み、今度は展望東屋に向かって登って行く。梅の花を楽しんだら駐車場に戻り、鹿窪運動公園に向けて帰路につく。皆さんが買い物はしないで良いというので、道の駅に寄らず予定よりも早く運動公園に帰着した。

